

毎月1~7日は

# 健診受診

# 推進週間



福岡市健康づくり  
イメージキャラクター  
よかるーもん

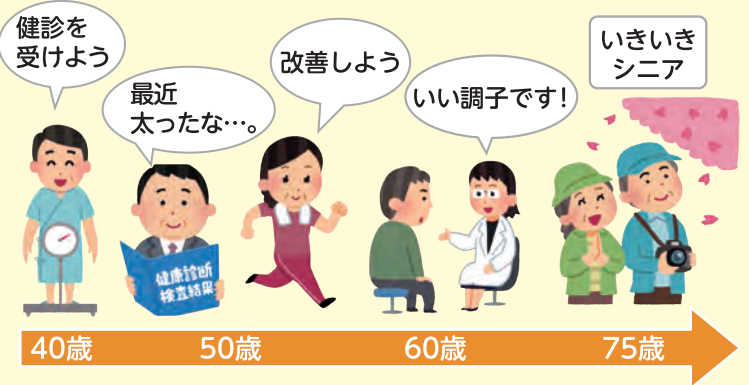
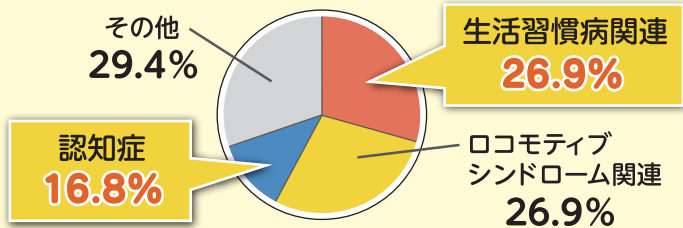
福岡市では、毎月1~7日を“健診受診推進週間”と設定し、家庭や職場、地域において健診の受診を呼びかけ、自らの健康づくりについて考える週間としています。

## 健診を受けて元気な人生を！

介護が必要になる原因は、糖尿病や心臓病、脳卒中などの生活習慣病によるものが全体の3割弱をしめています。また、原因の2割弱にあたる認知症も生活習慣病が関連していると言われています。

### 要介護状態になる原因

(平成25年度福岡市高齢者実態調査より)



## 生活習慣病が重症化するメカニズム

生活習慣病があると、全身の血管が傷み始めます。しかし、自覚症状が無いことが多く、気がついたときには動脈硬化が進み、重大な病気の一歩手前までに進行していることも。健診を受けることで疾患のリスクに早く気づくことができます。



## 生活習慣病予防のための健診

健診名	対象年齢	実施場所	料金	備考
よかドック (福岡市国民健康保険の 特定健診)	40~74歳 (平成30年3月31日 までに40歳になる人は 39歳でも 受けられます)	保健福祉センター、公民館、 健康づくりサポートセンター、 実施医療機関等	500円	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病などで治療中の人でも受診できます。</li> <li>ご予約や受診の際は、健康保険証をご準備ください。</li> </ul> <p>→右記の人は無料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度中に40歳になる人(昭和52.4.1~昭和53.3.31生まれ)、又は50歳になる人(昭和42.4.1~昭和43.3.31生まれ)、満70~74歳の人、市県民税非課税世帯(要証明書)の人は無料です。</li> </ul>
特定健診 (協会けんぽ・共済・ 組合健康保険など)	40~74歳 医療保険加入者			協会けんぽにご加入の方は、協会けんぽ(TEL283-7621)にお問い合わせください。その他の医療保険(共済・組合健康保険など)にご加入の方は、健康保険証に記載されている医療保険者へお問い合わせください。
後期高齢者健康診査 (福岡県後期高齢者医療制度)	満75歳以上等	福岡県後期高齢者医療広域連合 (TEL.651-3111)にお問い合わせください	500円	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣病治療中の方は受診できません。</li> <li>料金の免除制度はありません。</li> </ul>
サーティ よかドック30	30~39歳	健康づくりサポートセンター、 実施医療機関	500円	<ul style="list-style-type: none"> <li>昭和53年4月1日~昭和63年3月31日生まれの人が対象となります。</li> <li>職場等でよかドック30と同等の健康診断を受ける機会がない人が対象です。</li> <li>市県民税非課税世帯の人や生活保護受給世帯の人は無料(要証明書)です。</li> </ul>
生活習慣病予防健診	満40歳以上	実施医療機関	無料	<ul style="list-style-type: none"> <li>受診の際は証明書が必要です。</li> </ul> <p>(「生活保護受給世帯の人」および「中国残留邦人等で支援給付を受給している人」などのうち、医療保険未加入の人(現在、生活習慣病で治療中の人を除きます。))</p>

# 早期発見・早期治療でがんを撃退しよう！ 今年から始めよう！定期的な「がん」検診

## がんがまだ「他人事」のあなた

日本人のおよそ2人に1人が、がんになり、3人に1人が、がんで命を落としています。65歳以上では、2人に1人が、がんで亡くなっています。この割合は世界のトップレベルで、日本は、世界有数の「がん大国」といえるのです。



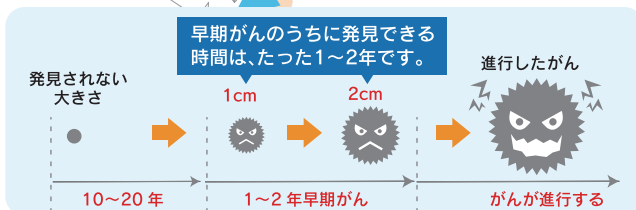
定期的な  
検診が一番です！！

## 症状のない時期に発見するのが、がん検診の役割です。

がんはある程度進行した段階で初めて症状が出る場合が多く、早期のがんでは症状が出ることはほとんどありません。そのため、がんの早期発見には症状のない健康なときに、定期的に検診を受けることが重要です。＊気になる症状があれば、検診ではなく病院を受診しましょう。

## がんは不治の病ではありません。

がんがまだ1cm～2cm程度の時期、つまり早期に発見できれば、治癒率はぐんと高くなります。



## がん検診等

がん検診は、職場などで受診機会がない福岡市民が対象です。

検診・検査名	内容	対象年齢	実施場所	料金
子宮頸がん検診 (女性のみ) (受診は2年度に1回)	子宮頸部粘膜の細胞診	満20歳以上	保健福祉センター、公民館、健康づくりサポートセンター等	400円
			実施医療機関	1,200円
乳がん検診 (女性のみ) (受診は2年度に1回)	マンモグラフィ検診 (2方向) <small>H29年度より視触診はなくなり、マンモグラフィのみとなりました。</small>	満40歳代	保健福祉センター、健康づくりサポートセンター等	1,300円
			実施医療機関	1,500円
胃がん検診	バリウムによる胃透視	満35歳以上	保健福祉センター、公民館、健康づくりサポートセンター等	600円
		満40歳以上	実施医療機関	1,800円
	内視鏡 (胃カメラ) 検査	満40歳以上	健康づくりサポートセンター、実施医療機関等	1,800円
大腸がん検診	2日間採便による便潜血検査	満40歳以上	保健福祉センター、健康づくりサポートセンター、実施医療機関等	500円
肺がん検診	胸部X線撮影	満40歳～64歳	保健福祉センター、公民館、健康づくりサポートセンター等	500円
	喀痰細胞診検査	満50歳～64歳のハイリスク者		1,200円 (500円+700円)
結核・肺がん検診	胸部X線撮影	満65歳以上	保健福祉センター、公民館、健康づくりサポートセンター等	無料
	喀痰細胞診検査	満65歳以上のハイリスク者		700円
前立腺がん検診(男性のみ) (10月・2月に実施)	PSA血液検査	満55歳以上	実施医療機関	1,000円
骨粗しょう症検査	X線による骨量測定	満40歳以上	保健福祉センター、健康づくりサポートセンター	500円
歯科節目健診 (節目年齢に1回)	口腔内診査、歯科保健指導	満35・40・50・60・70歳	実施医療機関 ※福岡市及び福岡市歯科医師会HPに記載	700円
妊婦歯科健診 (妊娠中に1回)	口腔内診査、歯科保健指導	妊婦		無料

- 65歳以上の人は、法律で年1回の胸部X線撮影の受診が定められていますので、医療機関等で受診機会がない場合は、「結核・肺がん検診」をご利用ください。
- ハイリスク者とは喫煙指数(タバコ1日本数×喫煙年数)が600以上の人のことです。「肺がん検診及び結核・肺がん検診」は、喀痰細胞診検査のみは受診できません。
- 下記に該当する人は福岡市が実施するがん検診等の料金が免除になります。  
①満70歳以上の人 ②満70歳未満で後期高齢者医療に加入している人 ③生活保護受給世帯の人 ④中国残留邦人等で支援給付を受給している人 ⑤市民税非課税世帯の人
- 実施医療機関の一覧は福岡市ホームページでご覧になれます。

福岡市 実施医療機関 検索

## お問い合わせ

各区保健福祉センター健康課

東区 ☎645-1078

博多区 ☎419-1091

中央区 ☎761-7340

南区 ☎559-5116

城南区 ☎831-4261

早良区 ☎851-6012

西区 ☎895-7073

健康づくりサポートセンター ☎751-2806

よかドックご案内センター ☎711-4826

(よかドックを受診できる医療機関をお知らせします)